



室根の特産米の寄贈

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

根室・室根交流の会

【根室市】

海峡を挟んで1000kmも離れた根室と室根 逆さ地名が縁で結ばれた交流の絆

はじめは？

平成11年9月18日付けで、当時の根室体育協会会長の手元に一通の書簡が届きました。当時の岩手県一関市室根町立公民館勤務で若者のリーダーからの書状でした。

「根室と室根、の逆さ地名は日本中に類がない。これも何かの縁、4年に一度開催の東北名代の荒祭りと創作太鼓を鑑賞しながらマラソンに参加いただきたい」と、言う熱いメッセージが添えられてありました。

早速「郷土愛に燃えスポーツ振興に寄せる若者の熱い想いに感動し、逆さ地名を縁として今後の交流を約束し例大祭の盛会を祈る」旨のメッセージを贈り期待に応えました。ここから、両地域の感動的な交流が始まりました。

おもな活動

1. スポーツ親善交流「根室＝マラソン・厚床駅伝、室根＝大祭マラソン・町内一周駅伝」(人的交流)
2. 特産品の相互交流「根室の“海の幸”、室根の“山の幸”」両地域の産業祭を通して(物的交流)
3. 地域の祭りを通した文化交流「根室＝金比羅神社例大祭、室根＝室根神社荒祭り」(人的交流と観光)
4. 地域の食材による交流「根室＝みさき保育園、室根＝こども園」(特産品を生かした園児交流)
5. 根室のシンボル「チシマザクラ」を室根の地で開花させよう(交流の証)



6. 図書館を生かした交流「市立室根図書館に根室コーナー設置」(北方領土資料・根室観光案内)

左:チシマザクラ苗木の育生

ここが自慢

【スポーツ交流に始まり、幅広い交流に発展】

海峡を挟んで1000kmも離れた根室と室根。距離的ハンディを乗り越え、逆さ地名が縁で結ばれた交流の絆は固く、様々な形で活動を続け今日に至っています。

活動の前半は、専ら若者を中心にスポーツ(マラソンと駅伝)が主流で活気に満ちた交流が続きました。人的交流が功を奏し、その度に選手団が持ち寄った特産品が人気を呼び、産業祭の定番として定着しています。特に室根地域では、根室「歯舞漁協」の特産品である「昆布しょうゆ」は、人気商品で106本入り100箱が完売し、今では地域の全家庭が愛用しているというエピソードが伝えられています。



左:保育園お誕生会で寄贈されたお米をいただく園児たち

連絡先

代表者名 : 志和秀春さん / 設立 : 1999年 / 会員 : 25名

住所 : 北海道根室市宝林町2丁目20番地7

電話番号 : 0153-22-8750

F A X : 0153-22-8750

E-mail :

U R L :